

優秀賞
審査委員長特別賞

【工法の種類】セーフティウォールを用いた在来工法

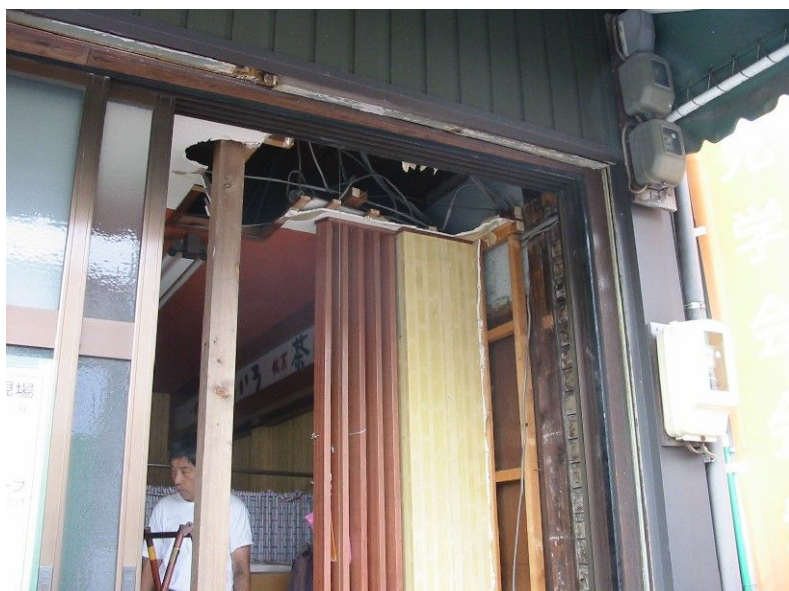
【応募者名】耐震化推進グループ
大森設計事務所



改修前(点線部分に壁を増設した)



改修後



改修前



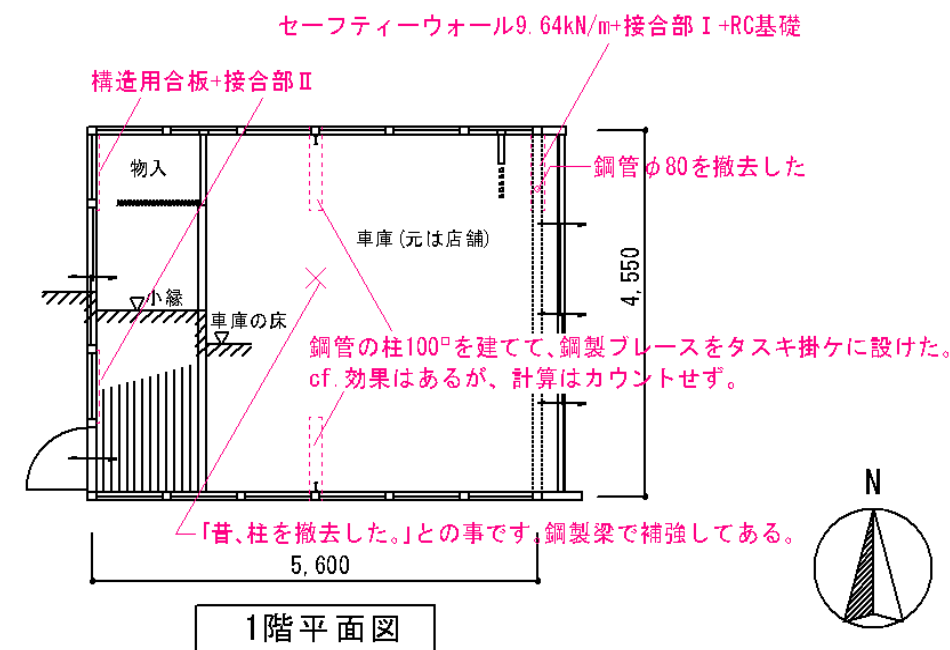
改修後

- ・耐震診断値【改修前 0.14、改修後 0.37】
- ・改修にかかった工事費 100万円
- ・改修にかかった工事期間 3週間

◆セーフティウォールとは、2枚の鋼板の間にシート状のゴム系樹脂を接着したものです。

本震だけでなく余震に対しても十分に効果を発揮します。

◆1階の南北方向(Y方向)のみを補強する計画を立てました。目標値の1.0には出来なかったが耐震効果があり、安価で工期が短いです。施主には「耐震改修をしないよりは、した方が良いです。数年後、また耐震改修工事をやって0.7ぐらいにしましょう。」とっています。



【講評】本事例は、築54年の2階建て小規模建物(25m²)を100万円という低工事費で補強したものである。構造用合板と樹脂入り鋼板を使用している。評点0.14を0.52にまで大幅改善している。1.0という目標値には遠いが、もっとも危険な箇所を適切に補強している点が高く評価できる。本建物には、評点の低い別棟が隣接しており、将来的にはこちらの補強も同様に進められることを期待したい。